

# 博士をとろう

「博士」 近寄りがたいとか、  
自分には関係ないと思  
っている皆さんへ

困難な課題に挑み、未来を創造する「博士」というキャリアへ。

JST-SPRING事業（次世代研究者挑戦的研究プログラム）や博士学生への各種支援の詳細については、右の二次元コードから「山口大学キャリアセンター・専門キャリア支援部門」にアクセス



山口大学キャリアセンター

# ○ 博士号を取得するメリット

最高峰の専門性と問題解決能力が身につく

高い専門性と問題解決能力を武器に、より高い報酬が期待されるキャリアパスが開けます

キャリア選択肢の多様化と第一線で長期活躍

研究開発や専門職など、年齢を重ねても価値が高まる分野で活躍し続けられます

上位職への昇進が速い

博士号が必須、または博士号を持っていることが有利な企業も多く、リーダーへの道が拓けます



# ○ 皆さんが不安に感じている点とその解決！



心配ごと・悩みごと

経済面の不安: いつまでも親に頼れない

就職の不安: 博士号修得後の就職先はある？

孤立への不安: 博士論文記述、研究室の中間管理職!?



バッチリ解決！



充実の経済支援: 生活費や研究費を支援する各種制度があります！

手厚い就職支援: スキルアップと就職活動の両面で支援！

専門アドバイザー: 経験豊富な専門家を配置 どんな悩みでも相談して！

博士後期課程への進学には不安がつきもの その一つ一つを解決、しっかりサポート！



# SPRING事業を含む博士学生に対する 各種支援の概要

## 経済面の支援

経済的な心配をせず研究に打ち込めるよう、手厚い支援制度がいくつか整備されています。以下に主な制度の概要を紹介します。\*制度利用には条件があります。

◆JST-SPRING事業（山口大学異分野融合研究実践型博士後期課程学生育成プロジェクト）  
年間約220万円の生活費相当額と研究費約30万円の経済支援を受けることが可能です（令和7年度現在）。

また、今後のキャリアパス形成に必要なトランスファラブルスキルを伸ばす取組や各種教育プログラムを提供しています。

◆日本学術振興会 特別研究員（いわゆるDC1、DC2など）  
博士課程に在学する学生や博士号取得後、ポスドクとして研究に専念する研究者に対する支援制度です。支援金額は、在学中とポスドクでは異なっています。詳しくは、日本学術振興会（JSPS）のWebページをご参照ください。

◆その他、大学や学部独自の支援制度などもあります。

## キャリアパス形成や就職に関する支援

博士人材への企業の期待は高まっています。専門スキルを活かせる多様なキャリアパスがあります。博士号取得後に様々なキャリア形成をしている先達の話聴く機会、博士学生向けの企業説明会に関する情報提供やアドバイザーによる相談制度により、皆さんのキャリアデザイン形成や就職を力強く後押しします。

## 博士課程（博士後期課程）在学時の支援（よろず相談）

研究の悩みから生活の不安まで、あなたを一人にさせません。博士学生への指導経験が豊富な教員OBなど、複数の専門アドバイザーがチームとなって、あなたの学生生活を支えます。



# 支援を受けた先輩達の声



## SPRING支援が繋げてくれた研究者への道

氏 名 富士 彩紗  
就職先 山口大学 助教(特命)  
(2025年3月 創成科学研究科修了)



私は研究者を志しキャリアを進めてきましたが、DCI\*1に採択されず、博士進学後の金銭面をどうするか悩んでいました。そのような状況でSPRING事業の支援を受けられたことは大きな転機となりました。当時、生物系の研究室には博士学生がおらず不安もありましたが、SPRINGの異分野交流プログラムを通じて多様な専攻の博士学生と出会え、励まされました。

さらに、支援により出張費を確保でき、学会で世界中の優秀な同世代と交流する機会を得られ、今も研究の大きな推進力になっています。経済的な不安なく研究に集中できた結果、育志賞\*2として成果を高く評価される貴重な経験にもつながりました。大学という自由度の高い環境で研究に没頭できた日々は、今後のキャリアや生き方に大きな影響を与えていると感じています。



## 異分野での挑戦と成長の機会に感謝いたします

氏 名 比嘉 南斗  
就職先 日本学術振興会 特別研究員-PD(東京科学大学)  
(2026年3月 創成科学研究科修了)



博士進学の懸念のひとつに経済的問題があると思いますが、SPRING事業による支援のおかげで安心して日々研究に取り組めました。異分野融合研究では、他分野の博士学生と共同研究にて、その楽しさと難しさを学ぶ貴重な機会となりました。

また、海外渡航支援をいただきベルギーの大学に研究訪問し、著名な先生方や世界のライバルである博士学生と国際研究交流にて知見と視野を広げることができました。これからもこの経験を活かして研究者として成長していきたいです。

複雑多様化するこれからの社会に、異分野融合の造詣を持ち、世界で活躍できる博士はさらに重要度が増していくと思います。これから博士を目指す皆様に応援しています！



## SPRING事業を通して広がった研究と夢への道

氏 名 安藤 紗奈  
就職先 第一三共株式会社  
(2026年3月 共同獣医学研究科 早期修了)



自身のキャリアを見据えて博士課程への進学を考えていたものの、当初は経済的な不安から迷いもありました。そんなときにSPRING事業が始まったことが大きな後押しとなり、進学を決意しました。博士課程は閉鎖的な環境になりがちですが、他研究科との交流やアドバイザーの先生方によるサポートがあり、心強く感じました。

また、私は海外渡航支援制度を活用して、2度海外学会で研究発表を行いました。同じ分野の研究者と意見交換をすることができ、大きな刺激を受ける貴重な経験となりました。もちろん楽しいことばかりではありませんでしたが、SPRING事業による支援があったからこそ、研究に全力で取り組むことができました。

\*1 DCI: 日本学術振興会(以下JSPS)が提供する特別研究員制度の一つで、博士課程の学生を対象とした支援制度。

\*2 育志賞: JSPSが、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士後期課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として創設。